

建通新聞

神奈川

2025年(令和7年)
6月23日月曜日

神奈川県測量設計業協会(千葉一会長)は17日、横浜市内で2025年度「測量の日」記念講座を開いた。協会員65人が参加し、災害への備えの重要性を再確認した。

記念講座では、神奈川県議会議員で防災士の資格を持つ川崎修平氏が「これから起こる地震・災害の基礎知識―事業者としての即応体制の強化」と題して講演した。

神測協

「測量の日」記念講座開く

災害への備え重要性を再確認

と生活者としての被災の軽減化を考える―」、横浜地方気象台火山防災官の町頭大輔氏が「気象庁が発表する地震や津波に関する情報について―災害リスクを学んで災害への事業者としての心構えを醸成しよう―」と題して講演した。

千葉会長「写真」は「東日本大震災をきっかけに測量に対する風向きも変わってきたと感じている。神奈川県ではこれまで大きな災害は少なかったが、いざという時にどのように行動すべきか考えてもらいたい」と話した。